日光白根山の火山活動解説資料（令和８年 10 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図１）

歌ヶ浜監視カメラ（日光白根山の南東約 13km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図２－①、図３）

日光白根山付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図２－②～⑤、図４）

地殻変動観測では、火山活動によるとみられる特段の変化は認められません。

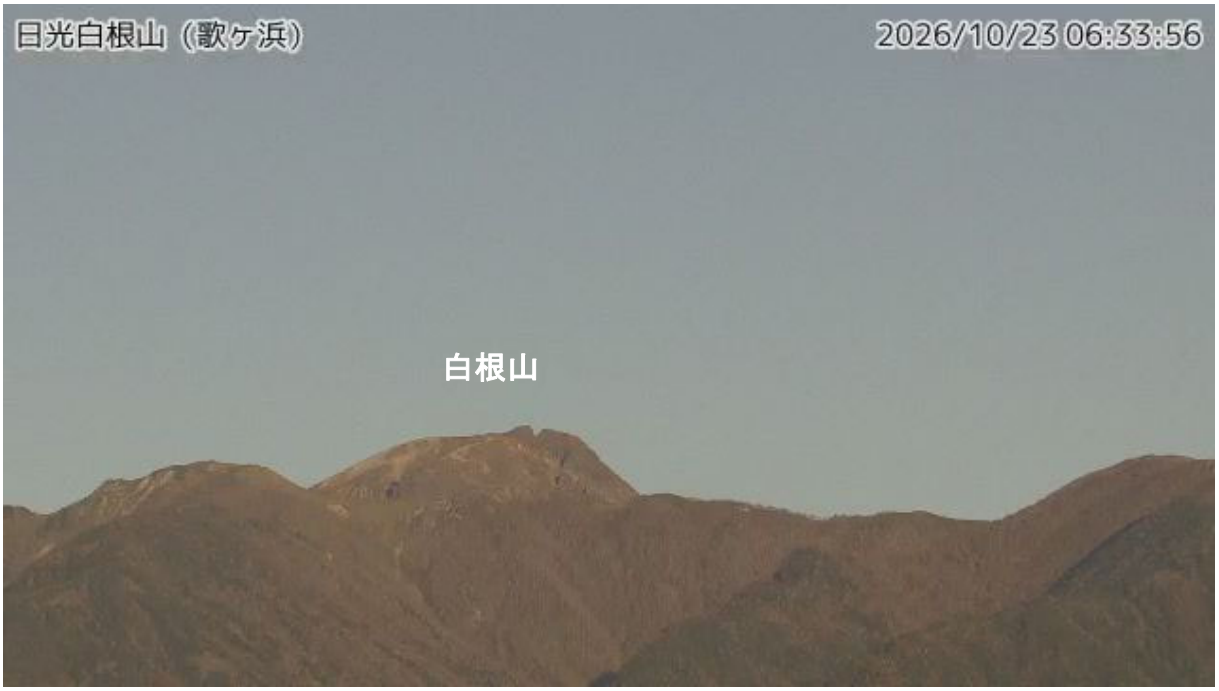


図１　日光白根山　山頂部の状況（10 月 23 日　歌ヶ浜監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
次回の火山活動解説資料（令和８年 11 月分）は令和８年 12 月８日に発表する予定です。
本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html
この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。
資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『基盤地図情報』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50ｍメッシュ（標高）』を使用しています。

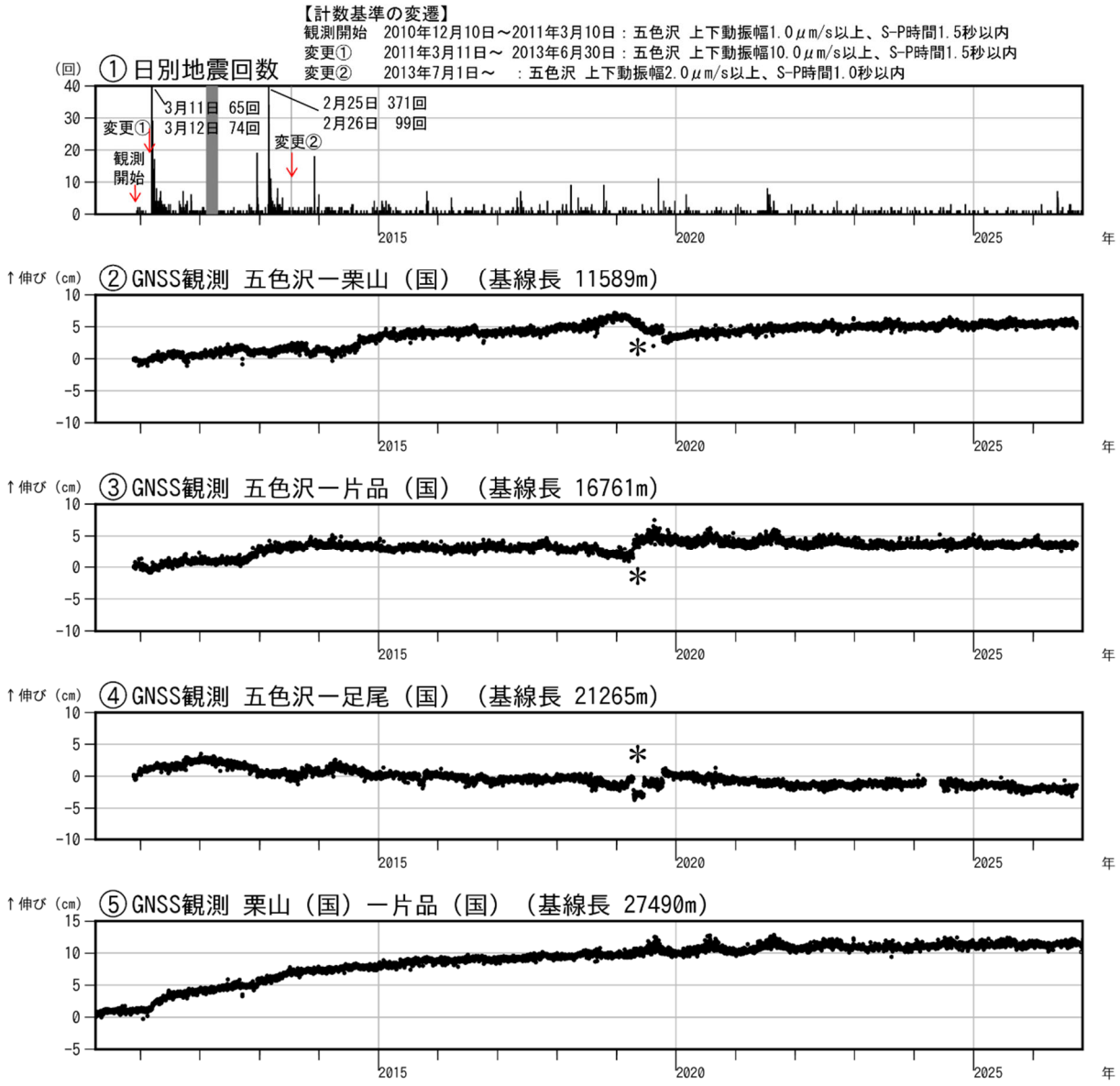
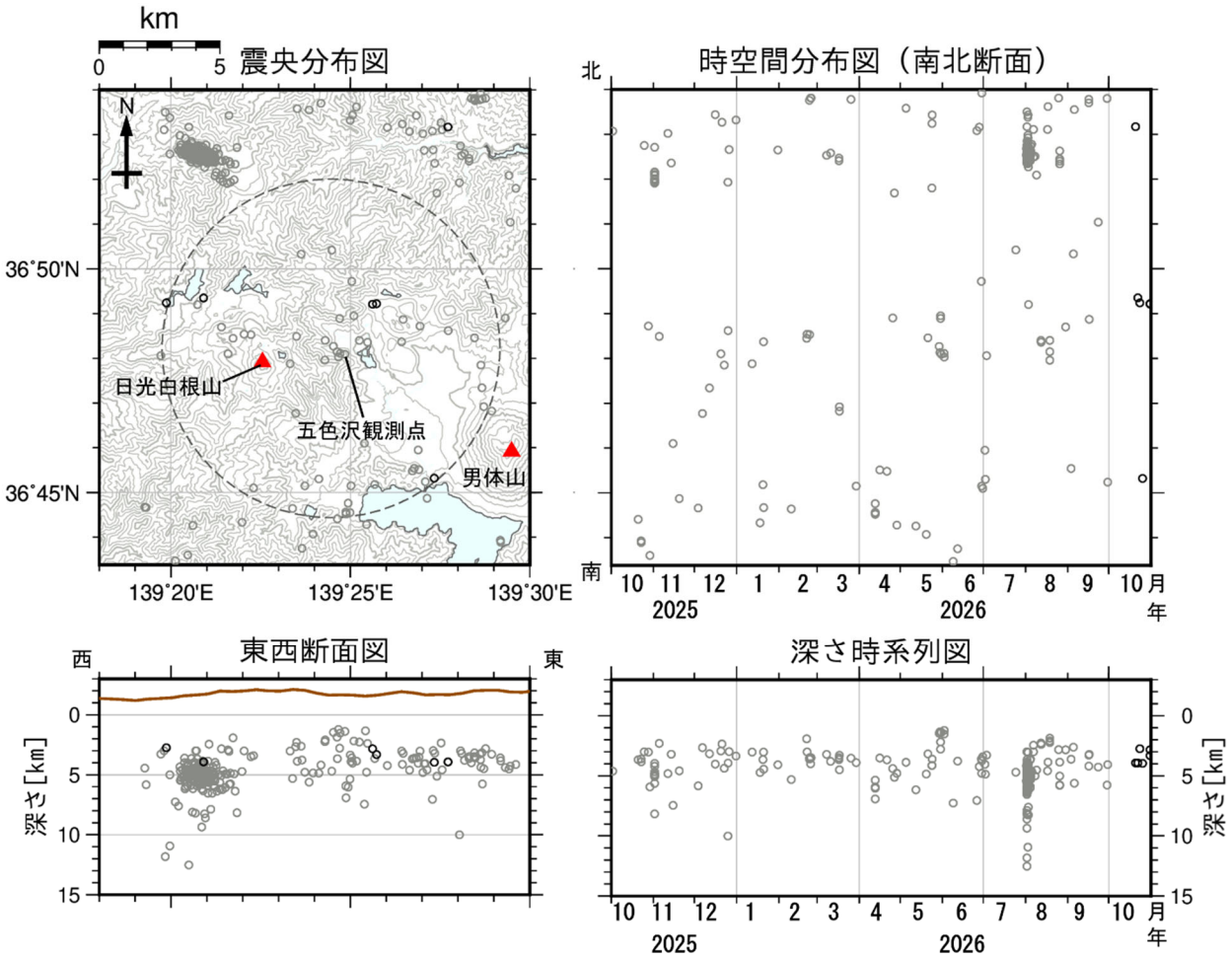


図２　日光白根山　火山活動経過図（2010 年４月１日～2026 年 10 月 31 日）

①日光白根山周辺の日別地震回数（2010 年 12 月 10 日観測開始）
　グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示しています。
②～⑤GNSS 連続観測による基線長変化
　（国）：国土地理院
　五色沢観測点の運用開始日：2010 年 11 月 20 日
　『平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震』及び 2013 年２月 25 日に発生した栃木県北部の地震によるステップを補正しています。
　②～⑤は図４の②～⑤の基線に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。
②及び⑤の GNSS 基線で、2021 年頃までにみられる長期的な伸びの傾向は、『平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震』の余効変動と考えられます。
②③④の GNSS 基線でみられる変動（＊）は、五色沢観測点固有の変動であり、火山活動によるものではないと考えられます。

・今期間、地震活動は低調です。火山活動によるとみられる地殻変動は認められません。

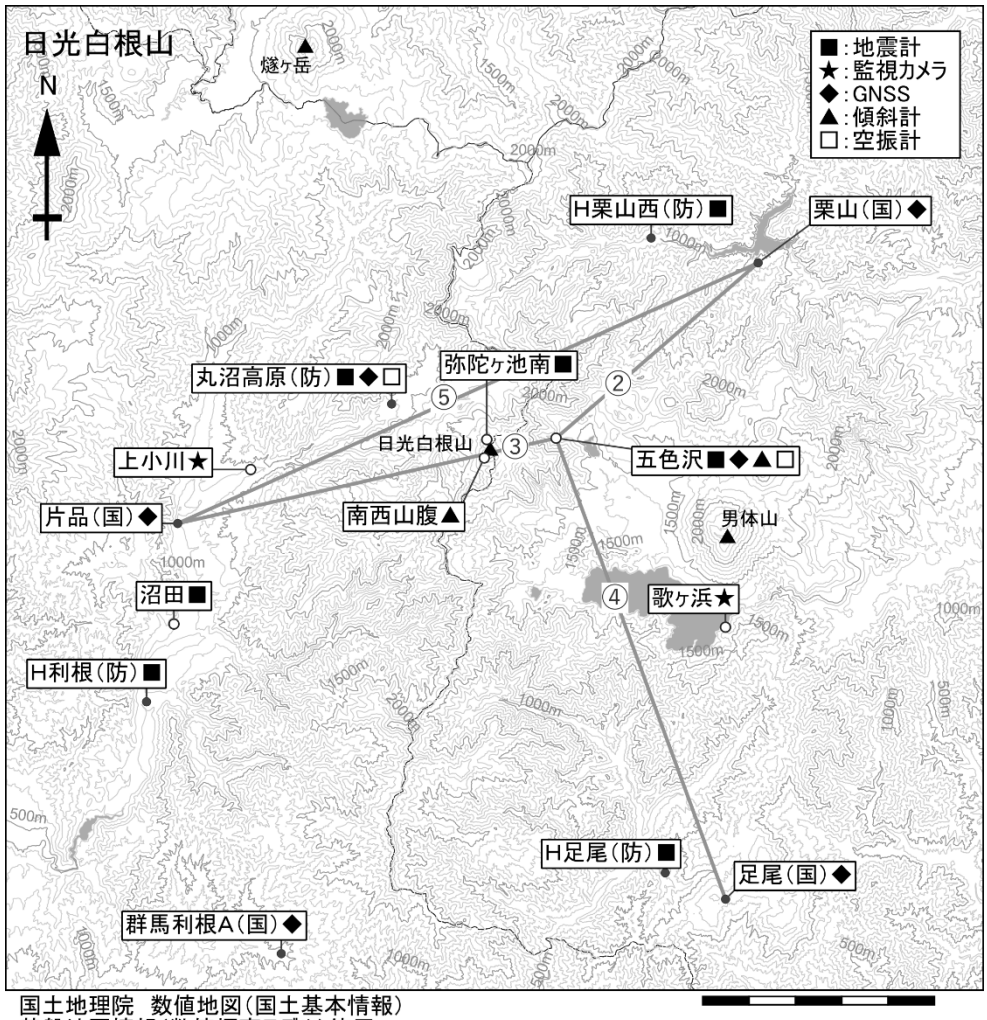


○：2025 年 10 月１日～2026 年９月 30 日　●：2026 年 10 月１日～10 月 31 日

図３　日光白根山　広域地震観測網による山体周辺の地震活動
（2025 年 10 月１日～2026 年 10 月 31 日）

広域地震観測網により、深さを全て海面以下として決定した震源を示しています。
なお、地震観測点の標高を考慮する等した震源決定の手法を用いています。
震央分布図中の円は図２－①の計数対象地震（五色沢観測点で S-P 時間 1.0 秒以内）のおよその範囲を示しています。
図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

・今期間、日光白根山付近を震源とする地震活動は低調に経過しました。



小さな白丸(◯)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国):国土地理院、(防):防災科学技術研究所

図４　日光白根山　観測点配置図

GNSS 基線②～⑤は図２の②～⑤に対応しています。